



株主通信

第65期 中間報告書 2026.1.1 ▶ 2026.6.30

株式会社 ルックホールディングス

証券コード：8029

TO OUR SHAREHOLDERS 株主の皆様へ

ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、平素は格別のご支援を賜り、心より厚く御礼申し上げます。ここに、当社グループの第65期第2四半期(2026年1月1日から2026年6月30日まで)における事業の概況につきまして、ご報告申し上げます。

今後も、当社グループは「お客さま第一主義」の基本理念のもと、持続的な成長と安定的な収益を実現し、更なる企業価値向上を図ってまいります。株主の皆様におかれましては、引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

澁谷 治男

当第2四半期(中間期)実績

売上高
242億3千9百万円
前年同期比0.2%減

経常利益
13億4千7百万円
前年同期比32.1%増

営業利益
11億3千9百万円
前年同期比39.1%増

親会社株主に帰属する中間純利益
9億9百万円
前年同期比69.0%増

第65期(2026年)通期予想

売上高
470億円
前年同期比9.8%減

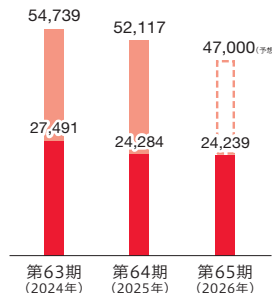
経常利益
22億円
前年同期比5.5%増

営業利益
19億円
前年同期比8.0%増

親会社株主に帰属する当期純利益
16億円
前年同期比8.5%増

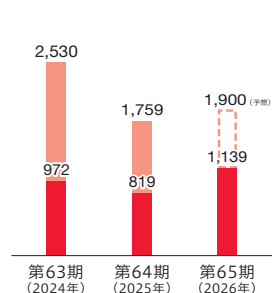
●売上高

(百万円) ■ 第2四半期(中間期) ■ 通期



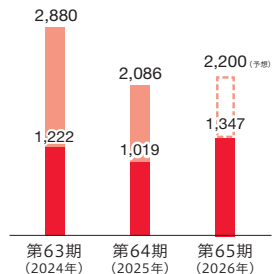
●営業利益

(百万円) ■ 第2四半期(中間期) ■ 通期



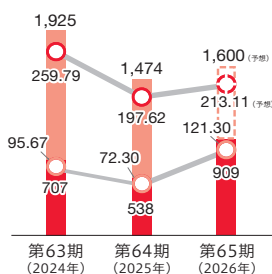
●経常利益

(百万円) ■ 第2四半期(中間期) ■ 通期



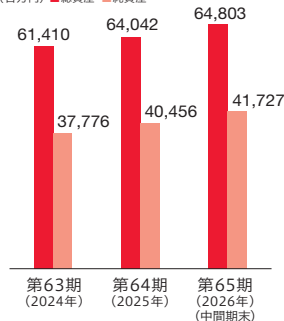
●親会社株主に帰属する中間(当期)純利益 / 1株当たり中間(当期)純利益

(百万円) 親会社株主に帰属する中間(当期)純利益 ■ 第2四半期(中間期) ■ 通期
(円) 1株当たり中間(当期)純利益 ○ 第2四半期(中間期) ○ 通期



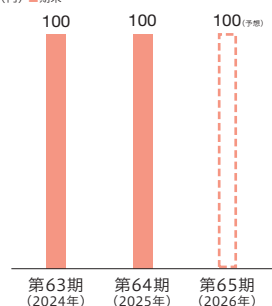
●総資産／純資産

(百万円) ■ 総資産 ■ 純資産



●1株当たり配当金

(円) ■ 期末



第65期第2四半期（中間期）の業績について

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策により緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、中東情勢や、金融資本市場の変動の影響による懸念もあり依然として先行き不透明な状況が続いております。

当アパレル・ファッション業界におきましては、気温の上昇に伴い夏物商品の立ち上がりは好調に推移したものの、期末にかけては季節外れの低気温など天候不順の影響を受けたほか、期を通じて恒常的な物価上昇を背景に消費者の節約志向が継続したことから、総じて横ばい基調で推移しました。

このような状況の中、当社グループは、2028年を最終年度とする中期経営計画の基本政策に掲げる「収益基盤の更なる拡大」、「資本政策の充実化」、「ESG戦略の強化」に取り組み、安定した事業基盤の構築として、主力ブランドの新規出店やブランド価値向上を目的としたイベント等の施策を実施してまいりました。

その結果、当社グループの当中間連結会計期間の売上高は242億3千9百万円（前年同期比0.2%減）、営業利益は11億3千9百万円（前年同期比39.1%増）、経常利益は13億4千7百万円（前年同期比32.1%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は9億9百万円（前年同期比69.0%増）となりました。

アパレル関連事業



「日本」につきましては、円安傾向の為替相場が継続し仕入価格が上昇する中、ブランド価値向上の施策に注力している主力インポートブランドが売上を押し上げたことで、総じて堅調に推移いたしました。「マリメッコ」においては、新規出店に加え、新作のバッグシリーズ及びブランド創立75周年を記念した日本限定商品等、バッグカテゴリーが好調に推移した結果、売上高が拡大いたしました。「イルビゾンテ」においては、折り財布やカードケース等のスモールレザーグッズの販売が定番・新作ともに好調に推移したことに加え、高単価なバッグの販売が伸長したことで売上が拡大しました。「A.P.C.」においては、話題性のあるコラボレーション施策を実施する等、ブランド価値向上に取り組みました。その結果、当中間連結会計期間の売上高は127億3千3百万円（前年同期比6.1%増）、営業利益は8億5千8百万円（前年同期比0.4%増）となりました。

「韓国」につきましては、半導体需要の拡大を背景とした輸出や旺盛なインバウンド需要に支えられ、内需については緩やかな持ち直しの動きがみられました。一方で、中東情勢や物価上昇など消費マインドを下押しするリスクが高まっております。先行き不透明な状況が続いております。

株式会社アイディールック、株式会社アイディージョイにおきましては、ウォン安基調の継続で仕入価格が上昇傾向にある中、訪韓外国人観光客の増加を背景に商業施設への集客が増加したことに加え、気温の上昇に伴い初夏物・盛夏物が

TO OUR SHAREHOLDERS 株主の皆様へ

好調に推移したことにより総じて堅調に推移しました。2月に契約が終了したブランドの影響により、当中間連結会計期間の売上高は104億9千6百万円(前年同期比8.0%減)となりましたが、1～2月に実施した最終セールが期初計画より大きく伸長したことなどにより、営業利益は6億7千3百万円(前年同期比62.0%増)となりました。

「欧州」につきましては、イタリアの直営店舗の売上が、欧米観光客の増加により順調に推移したことに加えて、主力の卸売事業において、日本の受注額が増加する等順調に推移した結果、当中間連結会計期間の売上高は20億8百万円(前年同期比21.2%増)、営業利益は1億6千5百万円(前年同期は1億5千4百万円の営業損失)となりました。

「その他海外」(米国)につきましては、米国において、「イルビゾンテ」の小売事業は堅調に推移したものの、卸売事業が米国の通商政策の影響もあり前年を下回った結果、当中間連結会計期間の売上高は1億9千1百万円(前年同期比5.1%減)、営業損失は2百万円(前年同期は3千8百万円の営業損失)となりました。

これらの結果、アパレル関連事業の当中間連結会計期間の売上高は254億2千8百万円(前年同期比0.6%増)、営業利益は16億9千4百万円(前年同期比57.3%増)となりました。

※セグメント別の業績の売上高および売上高構成比は、セグメント間の取引消去前の数値でございます。

生産及びOEM事業

「生産及びOEM事業」につきましては、株式会社ルックモードにおいて、グループ外への売上高が増加した結果、当中間連結会計期間の売上高は10億3百万円(前年同期比3.2%増)、営業利益は3百万円(前年同期は0百万円の営業利益)となりました。

売上高
構成比
3.7%

物流事業

「物流事業」につきましては、株式会社エル・ロジスティクスにおいて、グループ内への売上高が増加した結果、当中間連結会計期間の売上高は6億4千1百万円(前年同期比1.0%増)、営業利益は3千万円(前年同期比5.4%減)となりました。

売上高
構成比
2.4%

通期の見通しについて

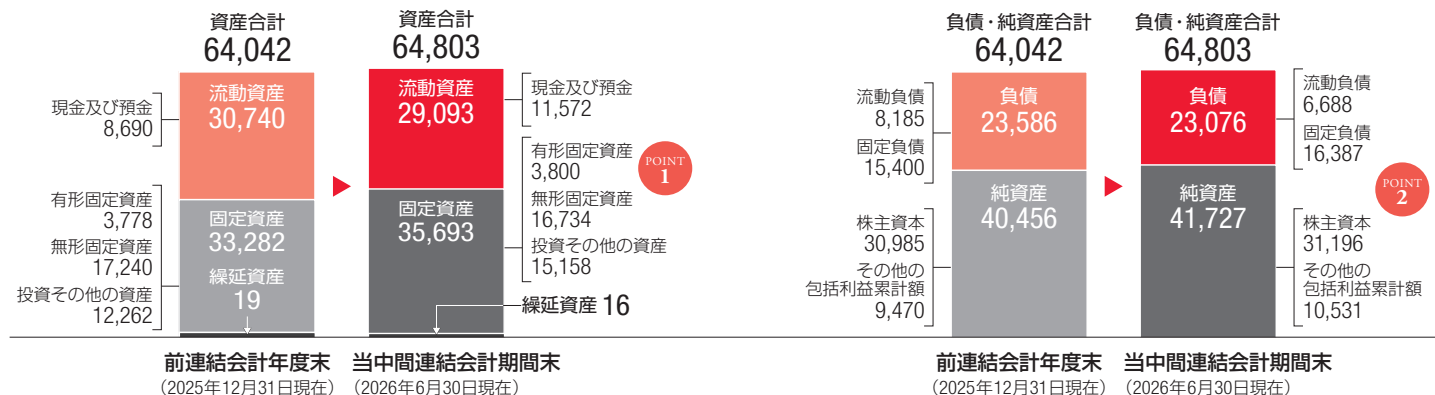
2026年12月期の連結業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間の実績を踏まえ、2026年8月3日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

売上高470億円、営業利益19億円、経常利益22億円、親会社株主に帰属する当期純利益16億円を予想しております。

FINANCIAL STATEMENTS 中間連結財務諸表

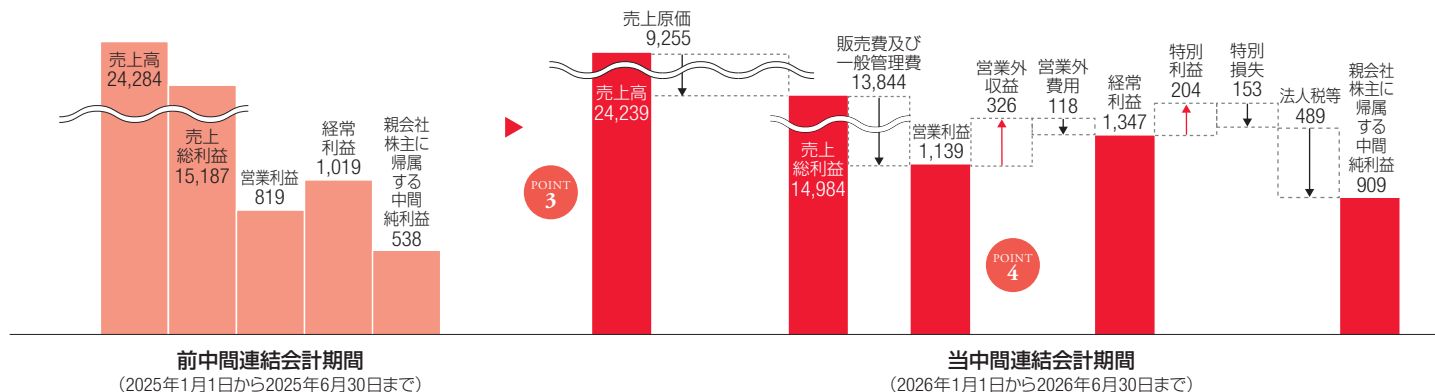
● 中間連結貸借対照表(要旨)

(単位: 百万円)



● 中間連結損益計算書(要旨)

(単位: 百万円)



POINT 1 資産合計
商品及び製品が22億2千5百万円、受取手形及び売掛金が22億6百万円、それぞれ減少しましたが、現金及び預金が28億8千1百万円、投資有価証券が24億1千9百万円、それぞれ増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ7億6千1百万円増加し、648億3百万円となりました。

POINT 2 純資産
その他有価証券評価差額金が14億4百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ12億7千1百万円増加し、417億2千7百万円となりました。

POINT 3 売上高及び営業利益
売上高については、韓国事業においてSMCP Holding SASとの独占販売契約が2月に終了しましたが、国内事業において主力のインポートブランドが堅調に推移し、イタリアの小売事業も観光客需要を取り込むことで大きく伸長したことなどにより、期初計画を上回る推移となり、前年同期比0.2%の減少となりました。営業利益については、韓国において2月のブランド契約終了前に実施した最終セールが好調だったことに加えて、国内・海外ともに販管費の低減が図られたことなどにより、期初計画を上回り、前年同期比39.1%の増加となりました。

CORPORATE DATA …… 会社概要

会社の概要

2026年6月30日現在

商 号	株式会社ルックホールディングス
設 立	1962年10月29日(登記上は1944年3月20日)
資 本 金	65億587万円
主要な事業内容	グループ会社の経営管理等
従 業 員 数	876名(連結)
主要取引銀行	三井住友銀行 三菱UFJ銀行
本 店	東京都港区赤坂8丁目5番30号

主要グループ会社

2026年6月30日現在

アパレル関連事業	
日本	株式会社ルック A.P.C.Japan株式会社
韓国	株式会社アイディールック 株式会社アイディージュイ
欧州及び その他海外	Il Bisonte S.p.A.
生産及びOEM事業	株式会社ルックモード
物 流 事 業	株式会社エル・ロジスティクス

役員構成

2026年6月30日現在

代表取締役会長	多田 和洋	常 勤 監 査 役	宇野澤博文
代表取締役社長	澁谷 治男	常 勤 監 査 役	水野 信之
常 務 取 締 役	斉藤 正明	社 外 監 査 役	服部 滋多
社 外 取 締 役	井上 和則	社 外 監 査 役	森居 達郎
社 外 取 締 役	秋葉 絢子		

- (注) 1. 取締役 井上和則および秋葉絢子の両氏は、社外取締役であります。
 2. 監査役 服部滋多および森居達郎の両氏は、社外監査役であります。
 3. すべての社外取締役および社外監査役を株式会社東京証券取引所の定める独立役員として指定しています。

STOCK INFORMATION …… 株式状況

株式情報

2026年6月30日現在

■発行可能株式総数	24,000,000株
■発行済株式総数	7,818,713株
■株主数	15,400名

株主メモ

事 業 年 度	毎年1月1日から12月31日まで
定 時 株 主 総 会	毎年3月開催
基 準 日	定時株主総会 毎年12月31日 期末配当金 毎年12月31日 中間配当金 毎年6月30日 そのほか必要があるときは、 あらかじめ公告して定めた日

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人 および特別口座 の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事 務 取 扱 場 所 (郵便物送付先)	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電 話 照 会 先)	☎ 0120-782-031
(ホームページURL)	https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/
公 告 の 方 法	当社のホームページに掲載します。 https://www.look-holdings.jp/ ただし、事故その他のやむを得ない事由によって 電子公告をすることができない場合は、日本経済 新聞に掲載します。



この冊子は環境保全のため、植物油インキとFSC® 認証紙を使用しています。

株主様アンケートご協力のお願い



ネットで アンケート

Provided by TAKARA Printing

株主の皆様からのご意見・ご要望を今後の活動の参考とさせていただくため、WEBアンケートを実施いたします。お手数ではございますが、ご協力をお願いいたします。

【所要時間5分程度】

2026年10月16日(金)締切

特典

ご回答いただいた方の中から抽選で、
200名様に「**QUOカード(500円分)**」
を進呈いたします。当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。
(2026年11月下旬発送予定)

アクセス方法



パソコンから

下記のURLからアクセスください。



スマートフォン・携帯電話から

右の二次元コードから直接アンケート画面へアクセスいただけます。

※機種により使用できない場合がございます。

【個人情報の取り扱いに関して】

本アンケートにより得られた個人情報については、当社グループの商品・サービス・イベントに関するご案内、株主権行使や株式取引に関するご案内、その他株主様向けの広報活動充実のために使用させていただく場合がございます。その他、個人情報に関する取扱いに関する詳細は宝印刷株式会社の「個人情報の取り扱い」(<https://www.takara-print.co.jp/privacy/>)のとおりです。

【アンケートに関するお問い合わせ先】

kabu@takara-print.co.jp

平日17時以降、ならびに土、日、祝日及び年末年始等の休業日中のお問い合わせに関しては翌営業日の回答になります。

株式会社 ルックホールディングス

〒107-0052 東京都港区赤坂8丁目5番30号